

⑮ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)11月8日

B 01 F 7/18

B

6639-4G

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全3頁)

⑬ 発明の名称 攪拌装置

⑯ 特 願 平1-95148

⑰ 出 願 平1(1989)4月17日

⑱ 発 明 者 仲 里 則 男 茨城県土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所機械研
究所内
⑱ 発 明 者 小 田 親 生 茨城県土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所機械研
究所内
⑱ 発 明 者 中 元 英 和 茨城県土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所機械研
究所内
⑱ 発 明 者 井 原 一 夫 山口県下松市大字東豊井794番地 株式会社日立製作所笠
戸工場内
⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
⑳ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

攪 拌 装 置

2. 特許請求の範囲

1. 槽内の流体を攪拌翼の回転によって攪拌し、
混合する攪拌装置において、

攪拌翼が複数枚の攪拌翼片から成り、該攪拌
翼片が回転によって流体へ攪拌軸方向の順推力
と逆推力とを生じるように構成したことを特徴
とする攪拌装置。

2. 前記攪拌翼の個々の攪拌翼片が半径方向の内
側と外側で互に逆の推力を生じるように構成し
たことを特徴とする請求項第1項記載の攪拌装
置。

3. 前記攪拌翼の個々の攪拌翼片は回転面に対し
て、半径方向の内側と外側で逆の角度を有する
構成としたことを特徴とする請求項第2項記載
の攪拌装置。

4. 前記個々の攪拌翼片は実質的に1枚の部材か
ら成り、渡り形状によって逆の推力を生じるよ

うに構成したことを特徴とする請求項第3項記
載の攪拌装置。

5. 前記個々の攪拌翼片は実質的に複数の部材か
ら成り、その少くとも2個の部材が回転面に対
して逆の角度を有して構成されたことを特徴と
する請求項第3項記載の攪拌装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は攪拌翼に係り、特に流体の攪拌装置に
好適な攪拌翼に関するものである。

(従来の技術)

槽内の液体、粉体、あるいは両者の混合体等の
流体を攪拌する攪拌装置は均一混合、伝熱性向上、
粒子の合体防止あるいは沈降防止等種々の操作目
的のために利用されるが、均一混合は各操作に共
通する目的であり、混合時間の短かい高い混合性
能の攪拌装置が望まれている。

混合性能を高めるために種々の回転攪拌翼が提
案され実用に供されている。従来の攪拌翼は2種
類に分類される。すなわち第1はファンタービン

に代表される回転攪拌翼の半径方向吐出流によって槽内の混合を図る方法、第2はプロペラ型攪拌翼に代表される回転攪拌翼の推力で生じる軸方向吐出流によって槽内の混合を図る方法である。

第1の方法は第8図に示す如く、槽内の主循環流は攪拌翼を境として上部のA流と下部のB流にわかれ、上下流の混合はA、B流の境界での軸方向の流れの乱れによって生じるのみであり、上下の混合性が十分でなかった。

第2の方法は第9図に示すごとく、攪拌翼の吐出流による槽内の循環流によって混合を図るものである。この方法は攪拌翼直下では吐出による循環流を生じているが、循環流は途中拡散減衰し、攪拌槽全体の循環力が弱まるため上下の混合性が十分でなかった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記従来技術は攪拌翼上部と下部の混合性について配慮がされておらず、十分に混合できないという欠点があった。

本発明の目的は攪拌翼の上部、下部にまたがる

対して互に逆の角度を有して座口に取付けられる。第2図に示す攪拌翼片42は実質的に1枚の部材から成り、その内側部と外側部は回転面に対して逆の角度を有するごとく設けられている。第2図ないし第4図の構成では攪拌翼の回転によって個々の攪拌翼は半径方向内側部で流体を押してける順推力と、外側部では押し下げる逆推力が発生する。

第5図、第6図は攪拌翼片の他の実施例を示したもので、第5図では互に逆の推力を有する2個の部材42a、42bの直接接合によって構成され、第6図では両部材42a、42bが回転面に垂直な部材42cを介して接合されて構成される。

第7図は本発明による攪拌槽内の流体の循環を示す図である。半径方向の内側部では押し上げ、外側部では押し下げる推力が生じるため、流体は内側部→上方部→外側部→下方部→内側部の大きな循環を生じる。

なお第1図には図示していないが、流体の供給ノズル、排出ノズルを有するほか、必要に応じて加熱あるいは冷却のためのジャケット、また内部

強い循環流による上下の混合性の高い攪拌装置を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、攪拌翼を攪拌翼の回転によって流体へ攪拌軸方向の順推力と逆推力を生じる構造に構成したものである。

〔作用〕

攪拌翼を構成する複数の攪拌翼片は半径方向の内側と外側で回転面に対して逆方向の角度を有するので回転に伴って内側と外側では流体へ逆方向の推力を生じる。すなわち、槽内の流体へ内側部→下方部→外側部→上方部→内側部の大きな循環を発生させることができる。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を第1図ないし第4図によって説明する。攪拌装置1は攪拌翼2と、軸受装置3に支持され、攪拌軸5を経てモータ6に回転駆動される攪拌翼4より成る。攪拌翼4は座口と複数個の攪拌翼片42より構成され、個々の攪拌翼片42は半径方向の内側部と外側部は回転面に

伝熱管が設置されることもある。また本発明の攪拌翼が攪拌軸方向に多段に設けられることもある。さらに本発明の攪拌翼は公知技術の他に攪拌翼およびドラフトチューブ、気泡巻き込み防止装置、消泡装置等と組み合せることは自由である。

〔発明の効果〕

本発明は以上説明したように構成され、作用するので以下に記載される効果を奏する。攪拌翼上方、下方をめぐる大きな循環を生じるため、従来技術の第1の方法が有する攪拌翼上方と下方で循環流がわかれるという欠点がない。さらに半径方向内側の攪拌翼直下の循環流が例えば拡散減衰したとしても半径方向外側で新たに循環を付与できるので従来技術の第2の方法が有する上下をめぐる全体の循環流が弱まるという欠点がない。本発明は上記したように強い循環作用を有するので攪拌翼上方と下方の混合が促進され混合時間を短くできるといふ効果がある。

4. 図面の簡単な説明

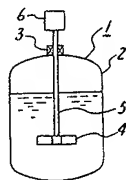
第1図ないし第3図は本発明の一実施例を説明

する図で、第1図は攪拌装置の側断面図、第2図は攪拌翼の平面図、第3図は第2図の1-1線断面図、第4図は第2図の1-1線断面図、第5図、第6図は各々本発明の他の実施例を示す説明図、第7図は本発明の流体の循環経路を示す説明図、第8図、第9図は各々従来の攪拌装置の側断面図である。

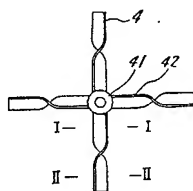
1.....攪拌装置、2.....攪拌槽、4.....攪拌翼、
42.....攪拌翼片

代理人 井理士 小 川 勝 男

才1図



才2図



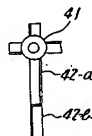
才3図



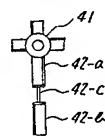
才4図

1---攪拌装置
2---攪拌槽
4---攪拌翼
42---攪拌翼片

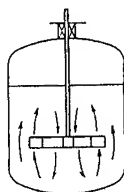
才5図



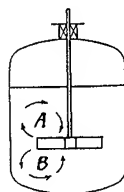
才6図



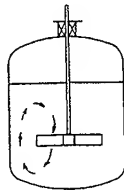
才7図



才8図



才9図



PAT-NO: JP402273531A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02273531 A

TITLE: AGITATING DEVICE

PUBN-DATE: November 8, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAZATO, NORIO

ODA, CHIKAO

NAKAMOTO, HIDEKAZU

IHARA, KAZUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

HITACHI LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP01095148

APPL-DATE: April 17, 1989

INT-CL (IPC): B01F007/18

ABSTRACT:

PURPOSE: To form a strong circulating flow formed across the upper section and the lower section of an agitating blade and mix the upper and lower portions efficiently by constituting the agitating blade in a manner that the fluid generates regular and reverse thrust forces in the agitating shaft direction by means of rotation of agitating blade.

CONSTITUTION: Fluid in a tank 2 is agitated and mixed by means of rotation of an agitating blade 4. Said agitating blade 4 is constituted of a plurality

of agitating blade pieces 42, and said agitating blade pieces 42 are constituted that the regular and reverse thrust forces of the fluid in the direction of an agitating shaft 5 are generated by means of the rotation of agitating blade pieces 42. As a result, a strong circulating flow formed across the upper and lower sections of agitating blade can be generated to increase mixing properties of the upper and lower sections.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio